

美術博物館の催し

【「ゆっくり生きる。」展関連企画】

《連続講座》ロハスのABC ～「食」から見直すいのち

■日時 ①平成20年1月20日(日)②2月3日(日)③2月17日(日)、いずれも午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 ①「日本茶をたのしむ」各種日本茶の多様な味わいを実感できるカフェ開店。お茶の美味しい入れ方も体験②「もう牛を食べても安心か～(流れ)の中にある命のふしぎ」科学ジャーナリスト賞受賞の講師による分子生物学の分野から見た「食」の安全性③「有機(オーガニック)とてどう」通常会員限定の旬の有機野菜を予約販売(後日配送) ■講師 ①日本茶カフェ「ひとひ」オーナー・遠城靖氏 ②青山学院大学理工学部教授・福岡伸一氏③ヘルシーママSUN代表・西馬きむ子氏 ■受講料 3,200円<全3回>*②③は、1回のみ受講も可(1,300円) ■定員 30人<全3回>*②③ 1回のみ受講は各20人 ■申し込み 往復はがきに氏名・住所・電話番号・年齢・参加回(1回のみ受講の場合は、希望回を記入)を記入し、1月5日(土)<必着>で、下記「ロハスのABC」係へ。※応募者多数の場合は抽選します。

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432(〒659-0052 伊勢町12-25)

谷崎潤一郎記念館の催し

【親と子の講座】 落ち着きを作る「茶道」

■日時 12月23日(日)午後1時30分～3時 ■会場 講義室 ■内容 和の心、日本人のたしなみとして茶道に楽しく接しましょう ■講師 表千家茶道教授・橋雅子(宗雅)氏 ■参加費 ペア2,000円(お菓子代・お茶代含む)※いす式のお手前 ■対象 幼稚園(5歳以上)～中学生の兄弟・親子 ■申し込み ファクスまたはメールで下記へ

【特別講座】 北村春江・楽しい暮らしのための法律(うれしい相続・もめる相続)

■日時 1月8日(火)午前10時～11時30分 ■会場 講義室 ■内容 相続関係の法律講座(なつかしいおやつ付き) ■講師 弁護士・北村春江氏(元市長) ■受講料 3,000円(おやつ代含む) ■定員 20人 ■申し込み ファクスまたはメールで下記へ

【文学講座と懐石料理】 たつみ都志の「文学に見る男と女」

■日時 1月11日(金)午前10時30分～午後2時 ■内容 第3回目「男の味方・女の敵～山崎豊子『女の勲章』～」男と女各々の思いとその立場等、面白くて知的で楽しい話 ■会場 大原町「たか木」 ■講師 谷崎館・たつみ都志副館長 ■受講料 7,500円(食事代含む) ■定員 24人 ■申し込み ファクスまたはメールで下記へ

【雑学講座】 男の雑学塾 藤本義一「人間模様」

■日時 1月27日(日)午前10時30分～午後1時 ■会場 講義室 ■内容 人生を楽しく過ごすための楽しい講座と田舎の昼ごはん ■講師 作家・藤本義一氏 ■定員 24人 ■受講料 4,000円(昼食代含む) ■申し込み ファクスまたはメールで下記へ

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244
Eメール: ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

芦屋・西宮 “もだんるーぷバス” ～ぐるっと一日乗り放題で浪漫たよう町めぐり～

芦屋市・西宮市に点在する芸術・文化施設等を結ぶ「もだんるーぷバス」を、来年2月までの土曜・日曜・祝日(※12月29日・30日・1月1日は運休)に運行しています。
■美術館コース 阪神西宮駅・大谷記念美術館(西宮)・美術博物館(芦屋)・ヨドコウ迎賓館 ■酒蔵コース 白鷹・白鹿・アサヒビール西宮工場(事前予約制 ※☎0798-36-9595) ■料金 自由に途中下車できる1日乗車券(500円) ※参加施設でもさまざまな特典があります。
■発売場所 各施設(アサヒビール西宮工場を除く)、阪急電車西宮北口駅サービスセンター、阪神西宮駅アンズリー西宮、阪神芦屋駅、阪神三宮駅(*車内での販売はしていません)



問い合わせ 阪神南地域ループバス阪神南泉民局地域魅力づくり課 ☎06-6481-4549

あしや子ども風土記 歴史さんぽ ①

芦屋の歴史

数千年以上も前から始まった芦屋の人々の暮らしは、思えば長い歴史です。朝日ヶ丘や山芦屋の山の麓で、人々は土器を作り、ブナやクヌギ林の中で狩りをしたり、植物を採ったりして暮らしていました。

二千年も前には、米を食べる暮らしが始まり、金属器が使われるようになりましたが、戦いも多かったため、会下山遺跡のように山の上に造られたムラもありました。次の古墳(墓)が造られる時代には、土を小山のように高く盛り上げ、その周りに堀を巡らして、四角と円を組み合わせた形の前後円墳が造られています。芦屋の金津山古墳や阿保親王塚からは、ハニワや鏡などが見つかっています。やがて、仏教文化が伝わるようになり、

山と海がせまる芦屋には、奈良や京都の都に向かう山陽道が通り、その近くから、そのころには大きなお寺(芦屋廃寺)が建っていたと思われる、立派な瓦がたくさん見つかっています。

交通の重要な地であった芦屋はむかしから争いも多く、約五百年前の打出浜の合戦や芦屋川をはさんでの鷹尾城(城山)の合戦が知られています。

三百七十年ほど前には、大坂城の石垣に使う石を芦屋の山から切り出しました。石に刻んだ丸や三角など、いろんな種類がありますが、それは、大名や石工などの印です。二百年ほど前の芦屋は、静かな農村が広がっていました。米や菜種、木綿などを作り、芦屋川を利用して水車が回っている風景が見られました。

百四十年前の明治二十二年に、むかしの芦屋村・打出村・三条村・津知村の四か村が一緒になって精道村になりました。やがて鉄道がひかれ、大阪と神戸が大きい

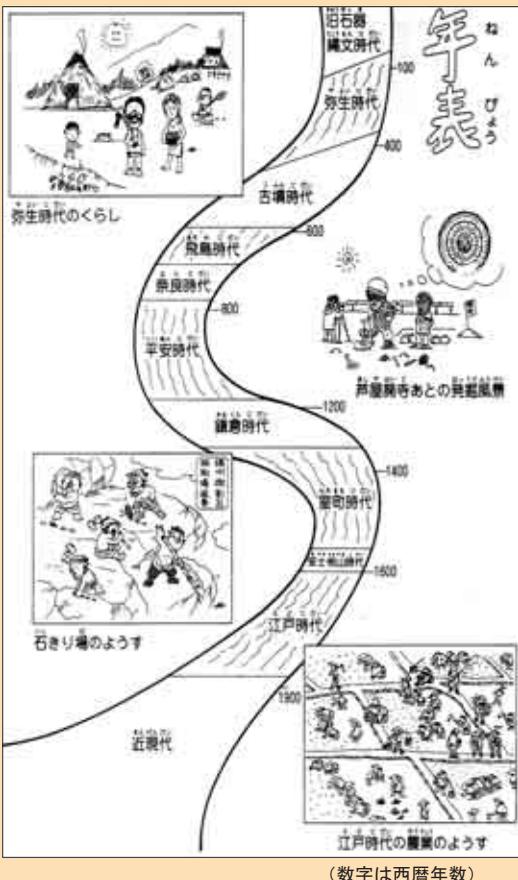
な都市として発展するにつれて、JR芦屋駅や阪急芦屋川駅が設けられました。山手にも次々と家が建てられ、住宅地芦屋として知られるようになりました。

五十三年前の昭和十五年、精道村は、芦屋市になりましたが、第二次世界大戦によって、およそ四〇パーセントの家が焼け、学校の建物は、八〇パーセントが

失われました。しかし、復興につとめ、国際文化住宅都市として発展を続けています。

●今回から、平成五年に発行の「あしや子ども風土記 歴史さんぽ」を紹介いたします。この冊子は、今から十四年以前の発行時点で『〇〇年前』という記載がされています。読まれる時点では、その部分の読み替えをし、お読みくださるようお願いいたします。

【歴史年表】



(数字は西暦年数)

【広告】

ケアプラン作成

ヘルパー派遣

安心とやさしさ... アシストケアあしや

お気軽にご相談ください。TEL 0797-22-7766

〒659-0066 芦屋市大栞町6番12号ネオックス202
FAX 0797-22-7765

シリーズあしや子ども風土記



■ご希望のかたは、美術博物館・市役所売店で販売していますので、ご購入ください。
※第1集「伝記・物語」・第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各冊400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。
※第7集「写真で見る芦屋今むかし1」は完売しました。

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432